

SATOYAMA NO KAZEDAYORI

里山の風だより



発行 2014年(平成26年) 3月5日(3月号) 通刊第7号

(発行) 茨木里山を守る会 ホームページ <http://1st.geocities.jp/satoyama224/>

(編集委員) 板倉百合・宇佐文哲・小川恵子・小川卓・小泉美智子・佐野毅・田中進・二階蔵滋・三浦瑞枝

1. 2月の活動

今月活動された方は 64人・累計 1139人です

活動地	2月	リーダー	内容	人数	累計
右近の森	1日	中川・河村	チェーンソー、手ノコで不要木、雑木、笹を伐採処理	15.0	563.5
新右近の森	22日	河村	府道北の「新右近の森」調査	4.0	
千提寺竹林	14日	有家	荒天の為、活動休止	-	
	22日	太田	竹支柱用の真竹を伐採し、先付した	3.0	
護摩堂の森	8日	今野	荒天の為、活動休止	-	64.0
竜王山西斜面	22日	廣瀬	ホダ木用コナラ間伐・運搬。林道一部積雪の為、車まで手運搬した	15.0	
ネイチャークラフト	1日	安原	ブンブン駒の製作	1.0	64.0
	22日	安原	クラフト材料加工	2.0	
ナラ枯れ対策				0.0	90.0
安全活動	1日	松田	チェーンソー初級研修実施。受講生は、主として9期生	14.0	86.0
	11日	松田	チェーンソー講師研修をヒノキ林で実施	10.0	
特別活動				0.0	335.5

2. ～活動スナップ～



1日 広場手前の整備



11日 チェーンソー研修



22日 雪道を運搬 重いなあー！

3. ニュース

☆ネットの視察研修会に参加しました！(2/27)

里山サポートネット・茨木主催の研修会に、本会から11名が参加。河内長野市の林業関係施設や植物園を見学。最初に訪問した木材総合センターは、平成8年に地元材活用を目指す施設として整備され、年間600立米の建築用材を出荷。モルダーという6個の刃を有する高機能プレナーによる製品の出来上がりに感嘆。原木を角材に加工する大型バンドソーの作業では、作業員の方から音によりノコ歯の異常を察知することをお聞きました。

次に、林業総合センター(木根館:きんこんかん)では、木工教室や会議室利用者数が、又、花の文化園(植物園)では入館者数が施設存続のバロメーターとなっているとの厳しい状況説明が

ありました。そのような中で、園芸講座修了生による運営ボランティア(フルクラブ)40名による支援活動が行われているとの報告もありました。今、見ごろの花は、梅、クリスマスローズ、ロウバイなどですが、これからは多くの花が目を楽しませてくれそうです。



☆「あなたの思い出アンケート」 トップはネイチャーツアー！

ご協力ありがとうございました。18名の方から回答がありました。

1位ネイチャーツアー 2位農業祭 3位ソーメン流し

4位バーベキュー大会 5位千提寺竹林整備

以下入山式・トン汁会、山菜料理会、餅つき会、竜王山整備、

ナラ枯れ対策、炭材・ホダ木採集、右近の森整備、里山祭と続きました。主要3フィールドでは、千提寺竹林が4番目の活動人数でありながら、上位に入選。春から始まって年末に整備完了という区切りの良い活動成果があったからでしょうか。

4. ～連絡とお願い～

☆「山菜料理を楽しむ会」参加者募集！みんなで来てねー！

来月の13日(日)に恒例の春の行事「山菜料理を楽しむ会」を開催します。
春に芽吹いた山菜や野草を千提寺周辺で摘み取り、天ぷらなどで美味しくいただきます。 ※後日配信の募集チラシ見てね！



投稿

「日本の森林開発は江戸時代から制御されていた」

世界に先駆けて、古くから日本の森林は保全されていたことを皆さんはご存じだったでしょうか。外国の森林面積は、例えば中国清朝の初期、嶺南地方、今でいう広東省・海南省の華南では、19世紀半ばには半減、20世紀初頭には、10%を割った。原因は建築資源のみならず、薪や木炭などのエネルギー源あるいは耕地を増やすための開墾を進めた原因で、森林は切り崩されていった。また、イギリスでも中世にはおよそ15%を占めていた森林が、17世紀の初頭には10%以下になり、20世紀の初めには禿山だらけになってしまったという現状がある。これは上智大学の鬼頭宏教授が、「明治近代化を支えた江戸の少子化」というテーマの中で述べられているのだが、世界に比して日本だけが江戸の初めから現在までほぼ横ばい、国土のおよそ7割が森林という状態を保っているというのだ。

日本で、森林が保たれた要因の一つは、森林破壊の危険

性にいち早く気づき、対策が講じられた点にある。1666年に幕府が発布した「諸国山川掟」では、地域によって、土砂災害の原因となる草木を根まで掘ることや焼き畑を禁じ、樹木の植え付けを命じている。また、各藩でも留山、部分山といった利用規制を施行、違反者には「枝一本で腕一本」とされる厳罰に処する一方、下刈り権を与えるなどの対応を行った。そこからうかがえるのは、循環型で持続可能な社会への強い志向である。日本にはスポーツや世界遺産といった誇れるものが沢山あり、自然に対する畏敬の念といった美德が連続と受け継がれている。昨今、マスコミやある政党に自国あるいは国民を貶めるような報道がみられるが、国民ひとりひとりが自覚し、もっと誇りと自信を持って良いのではなからうか。

エネルギー問題でも口当たり耳当たりのよい「原発ゼロ」を口にして、代替エネルギーや国民の負担といったものに触れずにいる政治家や有識者がいることに憂慮を覚えます。

(8期生 有家研一)

5. 3月・4月の活動予定

	右近の森	千提寺竹林	護摩堂の森	竜王山西斜面	ネイチャーラフト	ナラ枯れ対策	特別活動	ネット茶木	その他
3/1 (土)	○ 今野・中川							2日・9日炭焼 2日・9日・23日消える里山	
3/8 (土)	多様な活動日 橋爪				○ 安原			5日・12日・20日桜の苑	
3/14 (金)	9日チェーンソー研修		○ 中川					16日・23日関西大倉	
3/22 (土)	21日チェーンソー研修			○ 廣瀬				26日鉢伏山 27日観察林	
4/5 (土)	○ 松田							6日関西大倉 6日消える里山	
4/12 (土)	多様な活動日 河村				○ 安原	○ 橋爪	13日山菜料理	13日関西大倉 13日消える里山	
4/18 (金)			○ 中川				19日定時総会		
4/26 (土)				○ 廣瀬				24日観察林	

編集室より

4月号(第8号)は、4月5日配信予定です。

原稿募集！分野を問いません。写真・イラストなども大歓迎！



モットーは
安全に楽しく